

「ラグジュアリー観光等の振興を通じ、
我が国経済と文化の発展等を目指す議員連盟」
設立趣意書

外国人の訪日者数は新型コロナウイルス禍により、壊滅状態にあるものの、インバウンド拡大の趨勢は変わらないと考えられる。四季を織りなす美しい自然、長い歴史を背景にした豊富な史跡、おもてなし文化、アートや高度な医療水準と丁寧な看護ケアなどが、国内関係者の努力により世界へ情報発信され、日本の魅力が高まっているからだ。

インバウンドの拡大は我が国の経済と文化等の発展に大きく寄与する。コロナ後のV字回復をにらみ、誘致環境の整備に一層努め、この歩みを加速する必要がある。

このためには、海外の富裕層を今後、戦略的に取り込み、訪日者の層に更に厚みを持たせることが欠かせない。ファーストクラスの利用にとどまらず、プライベートジェット、スーパーヨットなどで旅する人々は、消費額が桁違いに大きいだけではない。強力なインフルエンサーとして私的な大使ともなるからだ。

ただ、残念ながら、我が国では海外富裕層の誘致戦略がこれまで十分とは言えず、機会損失は計り知れない。政府もようやく本格的な取り組みを始めたばかりである。プライベートジェット等の受け入れ環境の一層の整備、世界トップレベルの宿泊施設の誘致、さらに上質な観光コンテンツの開発、人材の育成、宿泊型人間ドックや高度先端医療等のより効果的なプロモーションなど課題は多い。

富裕層を我が国に取り込むことは以下の3点で重要である。

- ① 宿泊、工芸品、アート等への多額の国内消費を通じ、我が国経済を活性化させることができる。
- ② 我が国の文化・観光資源に一層磨きをかけるには投資が必要であり、誘致拡大により、関連企業等がその原資を確保できる。
- ③ 親日派が増えることは海外での日本の存在感を高めることとなり、外交力を強化できる。

そこで、「ラグジュアリー観光等の振興を通じ、我が国経済と文化の発展等を目指す自民党議員連盟」を設立し、必要な環境整備に取り組む。